

公安委員会定例会議開催状況

1 開催日 令和3年6月30日(水)

2 開催場所 警察本部大会議室 公安委員会室

3 出席者

(1) 公安委員会

石田委員長 町田委員 高橋委員

(2) 警察本部

本部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長
情報通信部長 首席監察官 警務統括官
訟務室長 捜査第三課次席 運転管理課聴聞官 公安委員会室長

4 議事の概要

(1) 報告事項

ア 初任科第217期生卒業式の実施について

警察本部から、「令和3年7月30日、群馬県警察学校体育館において初任科第217期生の卒業式を挙げる。」と報告があった。

委員から、「卒業生は、県警察の将来を担う人たちであり、厳粛な中にも立派な卒業式にしていただきたい。」と意見があった。

また、委員から、「卒業生21人の概要について伺いたい。」と質問があり、警察本部から、「今回の卒業生は、高校卒業等、警察官Bの区分で採用された者であり、最年少は19歳、最年長は27歳、女性警察官は3人となっている。」と回答があった。

イ 種苗法違反事件の検挙について

警察本部から、「群馬県が品種登録したいちご『やよいひめ』に関する種苗法違反事件の被疑者を検挙した。」と報告があった。

委員から、「今回の事件のほかにもいちごの種苗で摘発した事例はあるのか。」と質問があり、警察本部から、「今回が全国初の事例である。」と回答があった。

また、委員から、「種苗を守るという意味でも影響力のある事件であり、しっかりと捜査をしていただきたい。」と意見があった。

ウ 信号機のない横断歩道における停止率調査について

警察本部から、「ドライバーに対する歩行者優先意識の向上を図るため、県内15か所の信号機のない横断歩道において、横断歩行者に対する車両の停止率を調査し、一定期間、交通指導取締り、啓発活動等を強化するマナーアップ作戦を

実施した。」と報告があった。

委員から、「県警察、関係機関・団体の努力により、マナーアップ作戦も着実に浸透しているが、依然として、横断歩道における停止率が低いことから、引き続き、運転者だけでなく歩行者も含めた広報啓発活動を推進していただきたい。」と意見があった。

また、委員から、「横断歩道で止まる車が少なく、運転マナーが良くない車も見かけるので、現地における交通安全指導や交通指導取締りを効果的かつ継続的に実施していくことが必要だと思う。取締りが難しい場所もあると思うが、いろいろと工夫しながら取り組んでいただきたい。」と意見があり、警察本部から、「現在も関係団体等と連携し、横断歩道付近でのぼり旗等を活用した広報啓発活動を行っているほか、歩行者妨害の取締りを強化しているところであり、引き続き、対策強化に努めていきたい。」と回答があった。

さらに、委員から、「横断歩道で停止しなかった理由は分かるのか。」と質問があり、警察本部から、「今回の調査では実施していないが、取締りを通じて確認すると、『歩行者に気が付かなかった』などの理由が確認されている。」と回答があった。

(2) 決裁事項

ア 運転免許証の更新処分に対する審査請求の受付について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

イ 公安委員会宛て照会書の受理及び回答について

警察本部から、令和3年6月16日付けで受理した公安委員会宛ての照会書に対する処理方針について説明があり、決裁した。

ウ 警察職員の職務執行に対する苦情の受理及び補正依頼について

警察本部から、令和3年6月18日付けで受理した警察職員の職務執行に対する苦情の補正依頼について説明があり、決裁した。

エ みどり市笠懸町地内における盗品等保管事件の被疑者検挙について

警察本部から、利根郡昭和村地内において令和3年5月に窃取されたトラクターに関する盗品等保管事件の被疑者検挙について説明があり、決裁した。

委員から、「農家の方が被害に遭うと仕事ができなくなってしまうので、しっかりと捜査をしていただきたい。」と意見があった。

オ 行政処分の意見聴取結果について

警察本部から、当日実施した運転免許行政処分対象事案7件の意見聴取結果及び7件の聴聞結果について説明があり、決裁した。